

令和2年度 第1回

関市行政改革推進審議会

会 議 録

-概要版-

(令和3年1月25日)

関市行政改革推進審議会

1 会議名 第1回関市行政改革推進審議会

2 日時 令和3年1月25日(月)午前10時00分～11時31分

3 場所 関市役所6階 6-2会議室

4 出席委員 13名 (敬称略)

No.	名	区分	
1	各務 剛児	1号委員	関商工会議所
2	多田 幸泰	1号委員	関青年会議所
3	鈴木 良春	1号委員	岐阜県関刃物産業連合会
4	山田 博	1号委員	関金融協会
5	隣垣 学	1号委員	連合岐阜中濃地域協議会
6	藤村 伸隆	1号委員	関市東商工会
7	櫻井 寛和	1号委員	自治会連合会
8	○内藤 洋子	1号委員	関市地域女性の会連合会
10	市原 輝明	3号委員	学識経験者
11	◎藪下 武司	3号委員	学識経験者
13	林 加奈	4号委員	一般公募
14	加藤 知子	4号委員	一般公募
15	森川 哲也	2号委員	市職員

◎：会長、○：副会長

5 欠席委員 2名 (敬称略)

9	山田 弘子	3号委員	学識経験者
12	伊藤 康宏	2号委員	一般公募

6 事務局
企画広報課長ほか4名

7 傍聴者 なし

8 議事日程 次第のとおり

第1回 関市行政改革推進審議会

日 時 令和3年1月25日（月）
10時～11時30分（予定）
場 所 関市役所6階 6-2会議室

（次 第）

1 開 会

2 会長選出

3 諮 問

4 議 事

新行財政改革アクションプラン（素案）について

5 閉 会

（配付資料）

◎これまでの行政改革の主な取組

◎行財政改革アクションプラン（SAPⅢ）の取組内容一覧

(午前 10 時 00 分 開会)

○開会挨拶及び新委員紹介など（企画広報課長）

- ・新委員 3 名の紹介（No.2：関青年会議所 多田幸泰委員、No.5：連合岐阜中濃地域協議会 隣垣学委員、No.11：中部学院大学教授藪下武司委員）
- ・会長の選任は互選となっているが、今回に限り事務局案として、後任の学識経験者として就任した中部学院大学の藪下委員としたい。（「異議なし」）

○諮問

- ・現在取り組んでいる関市行財政改革アクションプランⅡが 3 月末で計画期間を満了する。引き続き行財政改革を推進し、限られた行政資源を効果的に活用し、行政サービスの向上を高めていく必要がある。
ここで、新たな行財政改革アクションプランについて審議会に諮問をさせていただきます。

- ・市長からの諮問書を代読（市長公室長）

せき行財政改革アクションプランについて、諮問でございます。

社会経済情勢が刻々と変化する中、これからの自治体経営は、人口と税収の減少を前提に、少子高齢化等によって多様化する市民ニーズに応じていかなければなりません。更に、社会保障費の増大などによる財政課題、ICT 活用による行政サービスの向上、公共施設のアセットマネジメントの推進などに取り組まなければなりません。このため、引き続き行財政改革を推進して、限られた財源、人材などの行政資源を一層効果的に活用することにより、行政サービスの質を高めていく必要があります。

つきましては、今回策定する「せき行財政改革アクションプランⅢ」の実効性を高め、より効果を上げることが出来る計画にするため、貴審議会の意見を求めます。

令和 3 年 1 月 25 日、関市長、尾関健治。

（市長公室長から会長へ諮問書を交付）

○議事

- ・新行財政改革アクションプランの取組内容を説明（事務局より）

【主な意見】

○重点項目 1 について

- ・人事配置制度や職員の効率的な配置について、弾力的な運営とあるが、同じ仕事をやっても仕事量が多い少ないなど、指針がないと、公平、不公平が出てくると思う。
- ・共通投票所について、例えば市内の大学に設置するのも候補とし、ぜひ、若い方の投票しやすい環境も併せて検討してほしい。

○重点項目 2 について

- ・収納率の向上について、人事異動によりスキルが低下してしまうとあるが、市職員は気が付くと課を異動していることが多い。能力がありスキルを持った職員が、その職場をより良くしていく方がいいのでは。
- ・遊休財産の売却、貸付について、統廃合のみならず、市が所有する山や土地といった財産を売却することで、市の収入にもなり、その土地が利用さ

れ、産業が発展することもある。専門の公共施設マネジメント室を作り、塩漬けになっている土地は売却し、経済の活性化に繋がらうかがか。

- ・成果連動型報酬について、ソーシャルインパクトボンド（SIB）という、実際に成果がどれくらい出たかによって報酬を出すというやり方があり、成果が上がったときに必要な分を渡すというやり方であれば、財政としても引き締められるかと思う。

○重点項目 3 について

- ・人事評価制度について、一般企業において相対評価は底上げ、社員のレベルアップができない。細分化するならば評価の仕方を、相対評価でもどのようにしてレベルアップしていくかをしっかり捉えていていただきたい。
- ・働き方改革を進めていく上では、職員のスキルアップをしていかなければならない。また、適正な仕事量をしっかり算出し、同一労働同一賃金を確保していかなければならない。これは職員のモチベーションや人材確保に繋がる。

○重点項目 4 について

- ・意見なし

○重点項目 5 及び全体について

- ・関市の水道はすごく良いと思う。自治体で水道料金がすごく違い、水がおいしい、おいしくないということもあるが関市は水のことをアピールして人を呼び込むことができるのではないか。
- ・オンライン会議やテレワークは、発信するほうは良いが、受ける側の条件が整っているか。ホームページやパソコンの使い方が分からずその情報が見えないお年寄りの方もいる。そういうことをやらないで進めていくというのが大丈夫かなと思う。
- ・オンラインやテレワークは、その間にオンラインの業者が介在している。いわゆる機密の保持、安全性を疑問視する方もいる。
- ・文化会館や公共施設について、メンテナンスやランニングコストに関しては補助金がない。そのため、公共事業に関して、電気自動車を導入した場合、後でどのくらいコストがかかるか。
- ・EV 車の話が出たが、ただ単に燃料費が削減できますよということだけでなく、EV 車の一番の目的は環境であると思う。
- ・行財政の改革について、トップダウンではどうしてもうまくいかない。チームでやっていくということを考えないと、なかなか進まない。職員が異動していくという話があったが、それはチームでやっていけば防げること。
- ・学校の統廃合について、老朽化することはずっと前から分かっていたことで、現在も 14 棟が適正時期を経過している。分かっていることなら、チームで引き継がれていくような形にしていくことが大事ではないか。

○閉会挨拶（市長公室長）

（午前 11 時 31 分 開会）